

## 第8回和歌山県データ利活用コンペティション募集要項

### 1 開催趣旨

和歌山県は、総務省統計局や独立行政法人統計センターと共に、「日本のデータ利活用拠点」として、データ利活用に関する分析・研究や情報発信、人材育成、連携・支援に取り組んでいます。その取組の一つとして、データ利活用の重要性・有用性を発信するとともに、次世代の日本を担うデータサイエンス人材を育成すべく、全国の高校生、大学生等を対象に、行政課題に対するデータを利活用した解決アイデアを募集する「第8回和歌山県データ利活用コンペティション」を開催します。

若い世代の皆さんにとって、今回のコンペティションへの参加が、地域の現状をよりよく理解し、データを利活用して物事を客観的かつ正確に捉えることの重要性を再認識するきっかけになれば幸いです。

### 2 募集内容

#### (1) 募集テーマ（高校生の部・大学生の部共通）「**2040年頃の理想のまち**」

あなたのゆかりのある地域（都道府県単位や市区町村単位のほか、任意の地域設定も可）について、データによる現状分析から、2040年頃のまちの姿を予測してください。

分析結果に基づき、未来の理想のまちについて考え、まちをどのように発展させていきたいか、よりよい未来を創るためのオリジナルのアイデアを提案してください。

#### ア 考えるときのヒント

##### ◆ なぜ2040年頃なのか。

- 2040年頃に、日本全体で65歳以上の高齢者人口の割合がピークとなり、生産年齢人口の急減が同時進行で起こることに伴い医療、介護などの社会保障制度の維持や担い手不足などの社会的・経済的問題が発生することが懸念されています。

（2040年問題）

##### ◆ 提案の流れ ※一例です

- ① 提案対象となるまちを決めよう
- ② まちに関するデータを調べよう
- ③ データから現状分析し、2040年頃のまちの姿を予測しよう
- ④ 予測したまちと理想のまちを比べて、理想を実現するにはどんな施策が必要か考えよう
- ⑤ 考えた施策について、データで検証してみよう

#### イ 具体例 ※一例です

- 農業労働力不足解消に向けた先端技術の活用
- 多様な働き方ができる社会を目指すワークシェアシステムの構築
- エネルギーの地産地消でサステナブルなまちを創る
- 自動運転車やドローンが活躍！どこでも自由に人・モノが移動

など、自由な視点でオリジナルのアイデアを提案してください。

ウ 参考データ

- [未来カルテ 2050 – OPoSuM-DSS \(オポッサム\) \(jpn.org\)](http://jpn.org)
  - [総務省 | 地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ | 地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ \(soumu.go.jp\)](http://soumu.go.jp)
  - [国立社会保障・人口問題研究所 \(ipss.go.jp\)](http://ipss.go.jp)
  - [空き家予測マップ | 東京都市大学建築都市デザイン学部秋山研究室 \(sakura.ne.jp\)](http://sakura.ne.jp)
  - [トップページ - RESAS 地域経済分析システム](#)
  - [RESAS Portal | 地域経済分析システム RESAS の利活用サイト \(resas-portal.go.jp\)](http://resas-portal.go.jp)
  - [統計ダッシュボード \(e-stat.go.jp\)](http://e-stat.go.jp)
  - その他各種公的統計
  - 各地方公共団体が公表するオープンデータ
  - 民間が公表しているオープンデータ
  - 応募者自身が独自に行ったアンケート調査データ 等
- ※ 分析に使用するデータや分析ツールについて制限はありませんが、参考にした既存の統計や分析結果等がある場合は、資料出所を必ず記載してください。(URL のみの記載は不可)

(2) 応募要件

- ✓ 募集テーマに基づく提案であること
- ✓ データ分析から得られるエビデンス（客観的証拠）に基づく施策提案であるとともに、応募者が発案したオリジナルのものであって、第三者の著作権を侵害していないこと
- ✓ 国や都道府県・市町村、その他民間機関等が主催するコンテスト等において受賞歴のある作品を内容の変更なく応募することは不可であること
- ✓ 現状及び課題について、データに基づく分析を行っていること
- ✓ 令和6年12月14日（土）に開催する最終審査会に参加可能であること  
(最終審査会の詳細については「審査の流れ」を参照してください)

(3) 募集期間

令和6年4月1日（月）～10月17日（木）

3 募集区分

高校生部門	高等学校、高等専門学校1年から3年まで、専修学校高等課程、特別支援学校高等部の在学学生
大学生部門	大学、大学院、短期大学、高等専門学校4・5年、専修学校専門課程・一般課程の在学学生

※1 高校生部門に参加される場合は必ず指導教員を1名付けてください。

※2 複数人でのグループ参加も可能です。各チームの人数に制限はありませんが、最終審査会の旅費支給対象人数は、下記[「5 審査の流れ」](#)>[「\(3\) 最終審査回・表彰式について」](#)※3のとおりです。また、グループについては、学校等の垣根を越えた編成も可能とします。

4 応募方法

本募集要項をよくお読みいただき、募集期間内に全ての応募書類を応募フォームから提出してください。

(1) 応募書類 ※ ファイル形式を厳守してください。

ア及びイの書類を提出してください。

ア 応募用紙(ファイル形式 Microsoft Word)

イ プレゼン資料(ファイル形式 Microsoft PowerPoint 又は PDF)

※ 「ア 応募用紙」の様式は、募集サイトからダウンロードしてください。

【募集サイト URL】

[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/competition/2024\\_8.html](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/data/competition/2024_8.html)

※ 「イ プレゼン資料」の様式は任意ですが、ファイル形式は厳守してください。

※ 「イ プレゼン資料」の枚数は、最終審査会でプレゼンテーションすることを想定した枚数にまとめてください。プレゼンテーションの時間は、高校生部門 10 分、大学生部門 14 分を予定しています。

※ 応募書類が不足していたり、ファイル形式が異なる場合は受付ができません。

(2) 応募フォーム URL : <https://logoform.jp/f/o9gCX>

※ 原則、応募フォームからの受付のみとさせていただきます。

※ 応募フォームによる送信完了後、受信確認メール（自動送信）が届きます。

（届かない場合は、お手数ですが、事務局までお問合せください。）

※ 万が一、応募フォームによる送信が出来ない場合は、恐れ入りますが事務局まで御連絡ください。

## 5 審査の流れ

(1) 審査の観点

提案作品は、次の観点から審査します。

なお、応募書類の不備や誤りなど、資料の完成度も審査します。

ア：データ利活用の観点

・データを適切に利活用し、独自の着眼点からデータを分析し、地域の現状や課題を抽出できているか

イ：施策提案の観点

・募集テーマに基づいた独自性・将来性のある施策提案であり、データ分析から得られたエビデンス（客観的証拠）に基づいているか

(2) 審査方法及び審査員

事前審査	事務局による形式的な書類審査を行います。
一次審査	学識経験者による書類審査を行い、最終審査に進出する参加者を決定します。一次審査結果は、合否にかかわらず 11 月末までに応募代表者宛てにメールで通知します。
最終審査	最終審査会においてプレゼンテーションを行っていただき、学識経験者及び関係行政機関の職員による厳正な審査に基づき、入賞作品を決定します。

## (3) 最終審査会・表彰式について

日時：令和6年12月14日（土）10:00～（予定）  
 会場：和歌山県データ利活用推進センター  
 （和歌山県和歌山市東蔵前丁3番17 南海和歌山市駅ビル5階）

- ※1 午前は高校生部門、午後は大学生部門を審査し、審査終了後表彰式を実施します。  
 ※2 一次審査通過者は必ず最終審査会に出席してください。  
 ※3 最終審査会に出席するために必要な旅費は、県の規定に基づき算出した額を1チームにつき3名分（高校生の場合は指導教員1名分を追加した額（合計4名分））まで支給します。

## 6 入賞区分及び賞

入賞区分	入賞点数
大賞 （副賞：商品券 20 万円）	各部門につき 1 点
データ利活用賞 （副賞：商品券 5 万円）	各部門につき 1 点
政策アイデア賞 （副賞：商品券 5 万円）	各部門につき 1 点

※ 大賞の受賞者には、賞状、楯及び副賞、その他の受賞者には、賞状及び副賞を贈呈致します。

## 7 その他

## (1) 著作権

応募物の著作権は応募者本人に帰属しますが、県が広報・宣伝の目的、または公共の利益のために利用・複製することは無償で認められるものとします。

## (2) 個人情報の取扱いについて

- ・ 応募の際にいただいた個人情報は、本コンペティション運営のためにのみ利用します。
- ・ 取得した個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、県ホームページにおいて、受賞者及び指導教員の氏名を公開することがあります。

## (3) 本コンペティションに関するお問合わせ窓口（事務局）

和歌山県企画部企画政策局企画課（和歌山県データ利活用推進センター）

住所 〒640-8203 和歌山県和歌山市東蔵前丁 3 番 17 南海和歌山市駅ビル 5 階

TEL 073-488-2430 / FAX 073-488-2432 / Mail [e0201003@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0201003@pref.wakayama.lg.jp)

## (4) 主催

和歌山県